

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	リパクレオン Cap150mg	市販直後調査 平成23年8月～平成24年2月
(英名)	LipaCreon	
(規格・含有量)	1カプセル中にパンクレリパーゼを150mg含有	
(一般名)	パンクレリパーゼ	
(メーカー名)	エーザイ	
【薬価収載日】	2011年7月	
【薬価】	(1Cap:31.60円)	
【薬効コード】	872331	
【薬効分類名】	膵消化酵素補充剤	
効能・効果	膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充	
用法・用量	通常、パンクレリパーゼとして1回600mgを1日3回、食直後に経口投与する。なお、患者の状態に応じて、適宜増減する。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②ブタ蛋白質に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	-	
副作用	便秘、下痢、発熱、腹部膨満、高血糖など	

(薬品名)	レキサプロ錠 10mg	劇 市販直後調査 平成23年8月～平成24年2月
(英名)	LEXAPRO Tab. 10mg	
(規格・含有量)	1錠中 エスシタロプラムシュウ酸塩 12.77mg(エスシタロプラムとして10mg)を含有	
(一般名)	エスシタロプラムシュウ酸塩	
(メーカー名)	持田製薬	
【薬価収載日】	2011年7月	
【薬価】	(1錠:212.00円)	
【薬効コード】	871179	
【薬効分類名】	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)	
効能・効果	うつ病・うつ状態	
用法・用量	通常、成人にはエスシタロプラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中あるいは投与中止後14日間以内の患者(「相互作用」の項参照) ③ピモジドを投与中の患者(「相互作用」の項参照)	
相互作用	本剤副作用増強 セロトニン作用薬①トリプタン系薬剤(スマトリプタン等) ②選択的セロトニン再取り込み阻害剤 ③セロトニン前駆物質(L-トリプトファン)含有製剤又は食品等 ④トラマドール塩酸塩 ⑤リネゾリド ⑥炭酸リチウム ⑦セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート)含有食品等 他剤作用増強 ①三環系抗うつ剤(イミプラミン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩等) ②フェノチアジン系抗精神病剤 ③リスペリドン ④ブチロフェノン系抗精神病剤(ハロペリドール) ⑤抗不整脈剤(フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩) ⑥β遮断剤(メプロロール酒石酸塩) 本剤作用増強 ①シメチジン ②オメプラゾール ③ランソプラゾール ④チクロピジン塩酸塩 ⑤アルコール(飲酒) 他剤副作用増強 ワルファリン 本剤他剤副作用増強 出血傾向が増強する薬剤(非定型抗精神病剤、フェノチアジン系抗精神病剤、三環系抗うつ剤、アスピリン等の非ステロイド系抗炎症剤、ワルファリン等)	
副作用	重大な副作用 痙攣、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)、セロトニン症候群 その他 倦怠感、頭痛、傾眠、浮動性めまい、悪心、腹部不快感、下痢、口渇など	

(薬品名)	ネキシウム Cap 20mg	市販直後調査 平成 23 年 9 月～平成 24 年 3 月
(英名)	Nexium Capsules 20	
(規格・含有量)	1 カプセル中有効成分エソメプラゾール 20mg(エソメプラゾールマグネシウム水和物として 22.3mg)を含有	
(一般名)	エソメプラゾールマグネシウム水和物カプセル	
(メーカー名)	第一三共	
【薬価収載日】	2011 年 9 月	
【薬価】	(1Cap:168.90 円)	
【薬効コード】	872329	
【薬効分類名】	プロトンポンプ・インヒビター	
効能・効果	<p>①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison 症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制</p> <p>②下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助</p> <p>胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃</p>	
用法・用量	<p>①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群 通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。</p> <p>②逆流性食道炎 通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、通常、8 週間までの投与とする。さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1 回 10～20mg を 1 日 1 回経口投与する。</p> <p>③非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg を 1 日 1 回経口投与する。</p> <p>④ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg、アモキシシリン水和物として 1 回 750mg(力価)及びクラリスロマイシンとして 1 回 200mg(力価)の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、1 回 400mg(力価)1 日 2 回を上限とする。プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの 3 剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして 1 回 20mg、アモキシシリン水和物として 1 回 750mg(力価)及びメトロニダゾールとして 1 回 250mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与する。</p>	
禁忌	<p>①本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者</p> <p>②アタザナビル硫酸塩を投与中の患者</p>	
相互作用	<p>他剤作用増強 ジアゼパム、フェニトイン、シロスタゾール、タクロリムス水和物、ジゴキシン、メチルジゴキシン、ポリコナゾール、サキナビルメシル酸塩</p> <p>他剤作用減弱 ①イトラコナゾール、②チロシキナーゼ阻害剤(ゲフィチニブ、ニロチニブ)、③ネルフィナビルメシル酸塩</p> <p>本剤作用減弱 セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品</p> <p>他剤副作用増強 ワルファリン</p>	
副作用	<p>重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状、汎血球減少症、無顆粒球症、血小板減少、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、間質性腎炎、低ナトリウム血症、錯乱状態、(類薬)溶血性貧血、視力障害、急性腎不全、間質性肺炎、横紋筋融解症</p> <p>その他 肝酵素上昇 (ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合)下痢・軟便、味覚異常など</p>	

削除医薬品通知

●11月1日より

ホモクロミン錠 10mg	削除
テシプール錠 1mg	削除
タガメット注射液 200mg	削除
ドプスカプセル 100mg	削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
ドプス OD 錠 100mg	ドプスカプセル 100mg